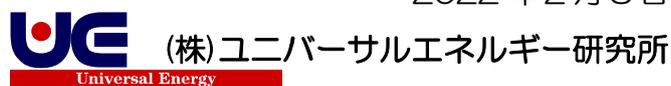


# 「大分コンビナート水素を活用した停泊船舶への海上給電と 港湾荷役機器への水素供給の可能性調査」 国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）の 調査事業に採択

2022年2月8日

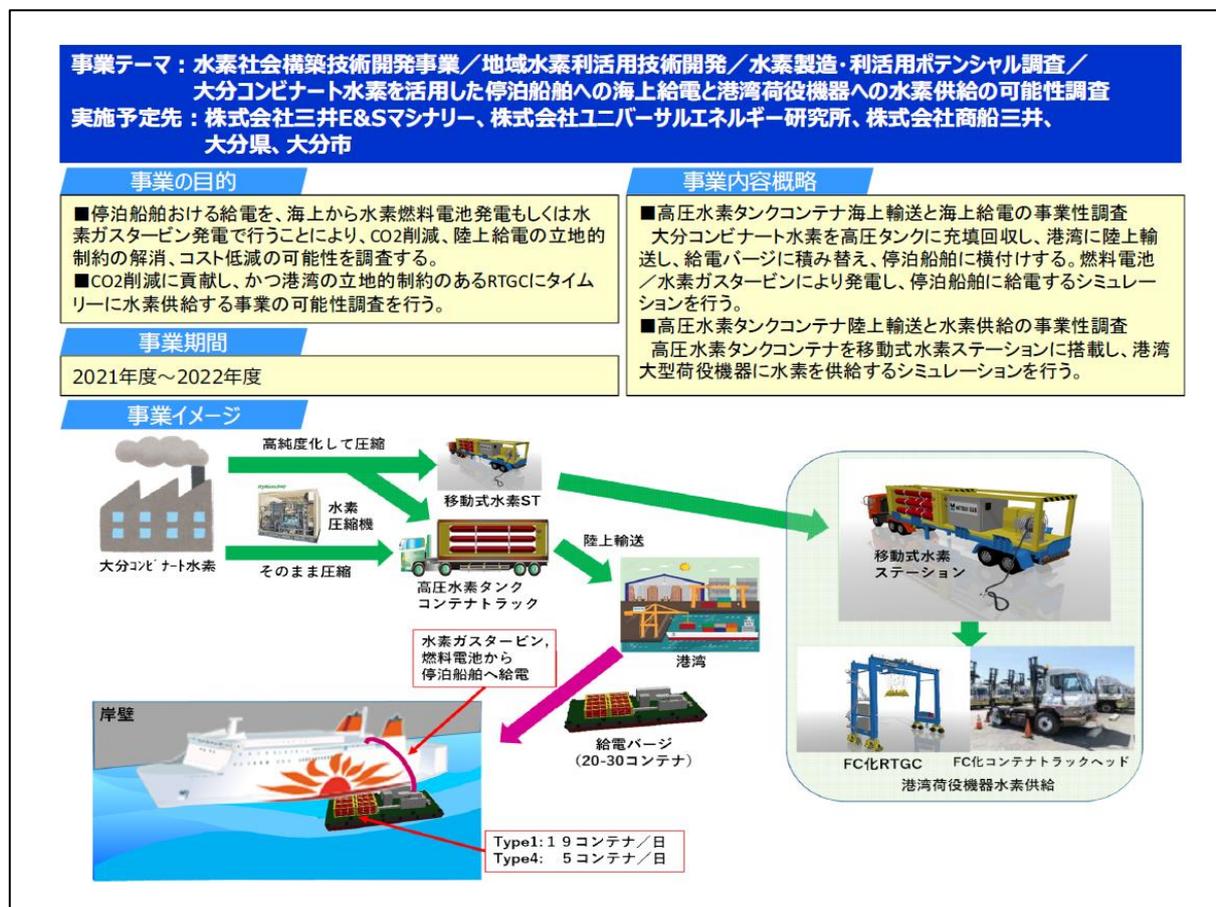


株式会社ユニバーサルエネルギー研究所（東京都港区、代表取締役社長：金田 武司、以下「当社」）では、地球温暖化対策として今後の鍵となる水素エネルギーの利活用に注目し、港湾における事業モデルとして、大分港において水素エネルギーを活用した実証事業モデルの構築を推進しています。

この度、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（以下「NEDO」）の調査事業として「大分コンビナート水素を活用した停泊船舶への海上給電と港湾荷役機器への水素供給の可能性調査」が採択されましたのでお知らせします。本調査事業は、株式会社三井 E&S マシナリー、株式会社商船三井、大分県、大分市の4者と共同で実施する予定です。

調査事業内容は、大分市内臨海部地域で発生する副生水素を活用した大分港内の停泊船舶への海上電力供給や港湾荷役機器への水素供給に関する調査事業であり、調査により事業性を見出すことを目的としております。

当社は本調査事業により大分コンビナート水素活用トータルシステムの調査に取り組んでまいります。



事業イメージ図

(出典：NEDO ホームページより)